

山古志支所からのお知らせ

1 集落懇談会開催について

下記の日程で、集落懇談会を開催いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、ご出席いただけますよう、よろしくお願いいたします。
開催時間は、全集落が午後7時30分からとなります。

月日	集落名	場所
3月6日(月)	種芋原(下村・中野)	新陽集会所
3月7日(火)	種芋原(大谷地・上村)	新陽集会所
3月8日(水)	虫亀	青葉台集会所
3月9日(木)	竹沢	B集会所
3月10日(金)	間内平 菖蒲 山中 油夫 桂谷	B集会所
3月11日(土)	梶金 木籠 小松倉	C集会所
3月13日(月)	三ヶ	A集会所

2 仮設住宅の退去の連絡について

仮設住宅を退去される方は、担当職員立会いで、仮設住宅の点検をさせていただきますこととします。

退去日が決まりましたら、市民生活課(電話：46-1502)へ連絡ください。
連絡をいただきましたら、立会日を調整させていただきます。

また、退去立会いの際に、「返還届」・「駐車場使用許可証」・「鍵」を揃えてご提出ください。

今後も山古志地域の情報をお伝えしていきます。よろしくお願いいたします。

発行担当課：山古志支所地域振興課振興係

電話：0258-46-1500

2006・2・24(金)

第6号

山古志支所だより

中越地震から2度目の冬…さっちゃん再び長岡へ！！



2月19日(日曜日)、長岡市立青葉台中学校体育館で歌手の小林幸子さんによる「がんばって長岡！」～小林幸子・歌の集い～コンサートが開催されました。

当日は約500人の小林幸子さんの歌を聞きたい・会いたいというファンが集まり、会場は時には感動し涙を流す方もいましたが、終始笑顔の絶えないコンサートでした。

小林幸子さんが6曲、南かなこさんが2曲歌ってくださり、最後の曲「越後絶唱」では小林幸子さんがステージから観客席に降りて手を差し出す観客と握手し、幸子さんも歓喜余って涙を流していました。

注目の衣装も、黄色のキラキラ輝くドレスと黒の振袖といった紅白歌合戦に負けないくらいのすばらしい衣装を披露していただき、訪れた人を楽しませてくれました。



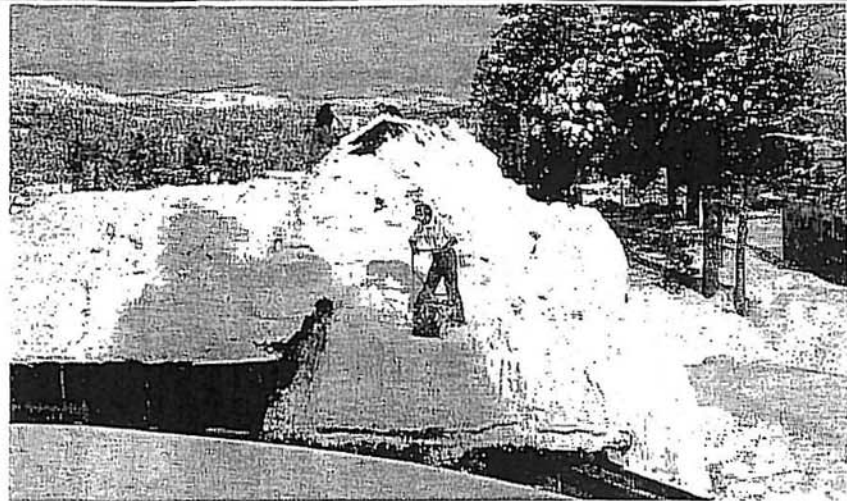
平成18年 雪の状況

昨年11月19日に初雪が舞った今冬の雪は、12月上旬から降り続き、全国各地で豪雪を記録するなか、山古志でもあつという間に2mを超え、12月19日に山古志地域豪雪対策現地本部を設置し、危険防止と除排雪の強化などを行いました。

1月13日には山古志地域に災害救助法が適用され、要援護世帯の雪下ろしや、全世帯に対する住宅周りの機械排雪を実施しています。

現在までの最高積雪は、竹沢で2月6日に308cm、種学原で2月12日に390cmになっています。昨年（3月14日に356cm/416cm）よりは30~50cmほど少なくなっています。

ここ数日暖かくなっていますが、雪崩の危険は続いており、まだまだ気を抜くことはできません。



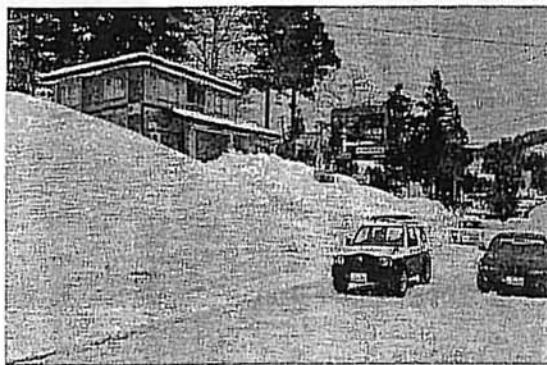
↑ 1月29日種学原・343cm・地元グループ「ふるさと会」による雪下ろし（片桐恒平さん撮影）



↑ 2月2日種学原診療所・315cm・昨年12月に建物が完成。電気では屋根雪を融かしており、18年度で周りの舗装工事を行います。



↑ 1月24日松木・255cm・機械による住宅周りの排雪

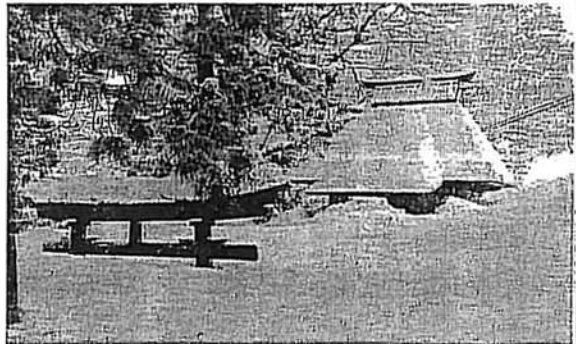


↑ 1月30日虫屯 263cm



↑ 1月28日桂谷・270cm・車が通らないため雪上車送迎で一斉雪下ろし

↓ 2月11日池谷八幡神社・292cm・震災で建物が倒壊しましたが、屋根部分は大丈夫で、昨年中に築落で修復を完了。静かに住民の帰りを待っています。



↑ 2月18日山古志中学校・280cm・昭和56年の「56豪雪」では最高積雪が502cmに達し、バックネットが点線あたりまで埋まりました。現在、体育館手前に小中合同校舎を建てる位置にポールが立っており、雪の下には既に基礎のコンクリート工事が施されています。

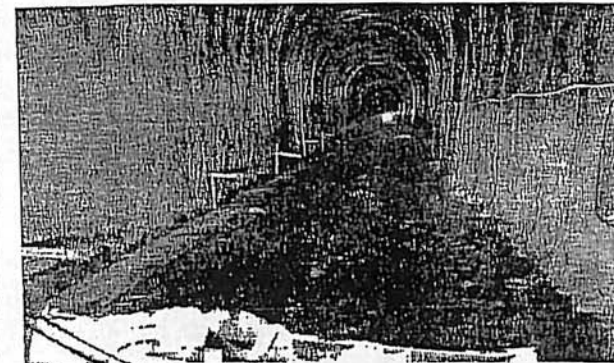
（注）積雪量は種学原を除き、竹沢の数値

話題

新堀建設・山古志支援イベント

2月19日「新堀建設と山古志支援会」のみなさんにより仮設集会所で新春イベントが開かれました。落語、フォークソング、歌謡があり、「腿のいる村」の上巻では昭和40年代の小千谷市塩谷が主な舞台となっていました。バスが走ったり品評会などで山古志の風景が登場し、懐かしい顔も映っていました。

新堀さんは埼玉県日高市で建設会社を営む。7年前からカメラを通じて山古志と交流を続けられ、平成16年の四季のやまこし写真コンテストで村民賞を受賞された方です。震災後たくさんの方の支援をいただき、今回も仮設暮らししている住民の励ましにと、お出でいただきました。



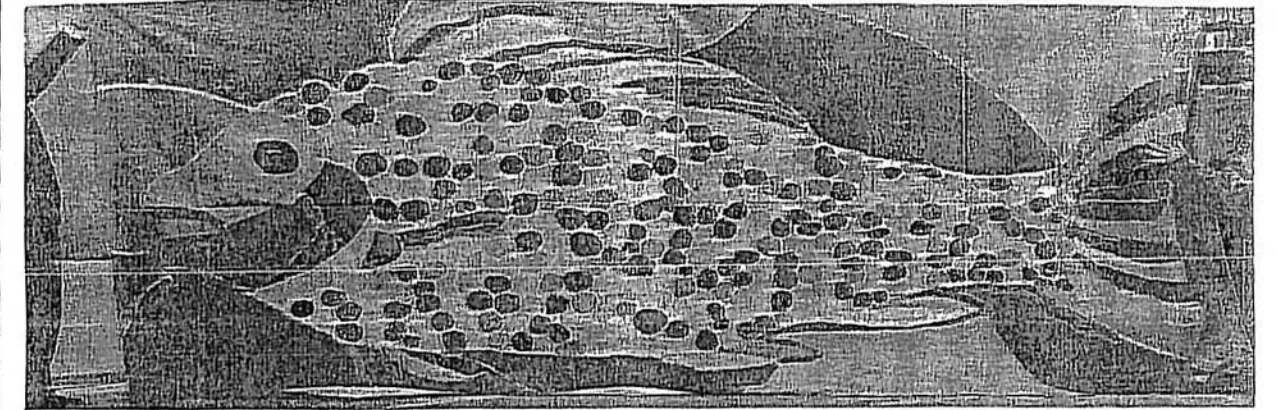
△ 羽黒トンネルの様子
今後、側溝、路盤、舗装工事を行い、通行できるようになります。



△ 東洋大学ボランティア
昨年夏に続き、今回は3月20日まで仮設住宅を中心に活動します。

地域の話題コーナー

● イタリアの子どもたちから山古志への贈り物♪



2月12日（日曜日）に陽光台仮設B集会所で、イタリアの子どもたちが描いた絵の贈呈式が開催されました。

現在、山古志診療所に置かれている「天使像」を制作された立見由美子さんが、昨年山古志の子どもたちが描いた絵のお礼に、イタリアの子どもたちが描いた錦鯉の絵を持参してくださいました。

地震をきっかけに築けた友情、これからも大切にしていきたいですね。

● 大人も子どもも元気はつらつ（＼＼）／

～種芋原地区雪上レクリエーション決行！！～

2月18日（土曜日）に新陽仮設住宅前の広場で種芋原地区雪上レクリエーションが開催されました。

この行事は、種芋原地区で20年以上親しまれている行事です。

当日は晴天の中、仮設暮らしで硬くなった体をおもいきり動かし、子どもからお年寄りまでみんながレクリエーションを楽しみました。

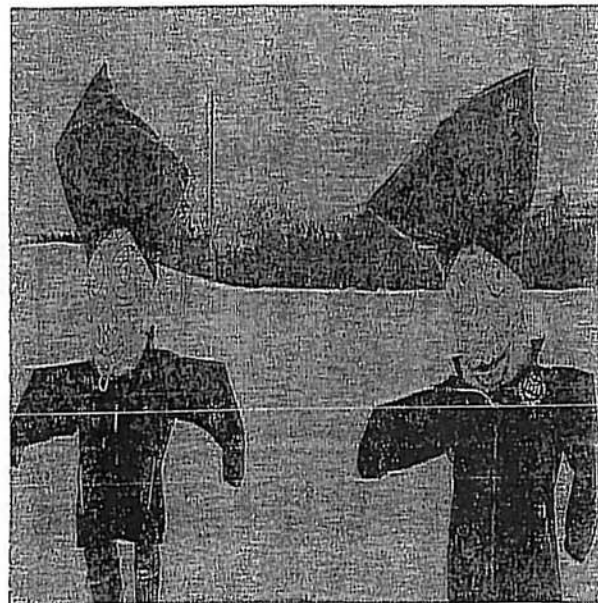
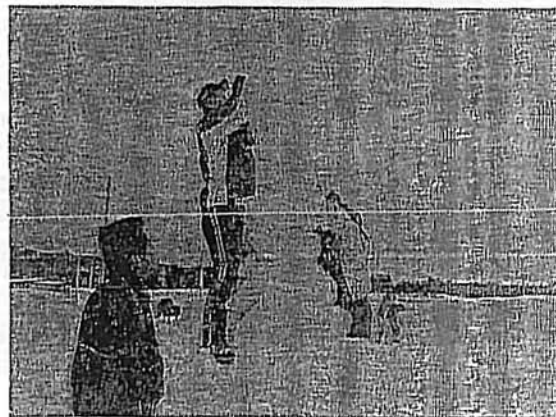
競技種目は（1）雪のピラミット （2）ストローで一杯 （3）ころを合わせて （4）袋の中身はなに？ （5）羽根突つの5種目で、赤組（下村・中野）と白組（大谷地・上村）に別れ熱戦が繰り広げられました。

結果は白組が優勝！

レクリエーションの間には、寒さが厳しい中“はだか踊り”が披露され、会場に笑いを誘っていました。



↑ころを合わせての一幕



● 中越地震から学ぼう！ 青葉台小学校6年2組の学習会

～青木さんと熊田さんに聞こう～

2月14日（火曜日）に陽光台仮設 A 集会所で、青葉台小学校6年2組の学習会が行われました。

学習内容は、山古志住民から地震のときの様子や仮設住宅の現状などを直接聞き、そこから自分たちに何かできるか、どうしていかなければならないかを考えていこうというもので、山古志住民の代表として池谷区長の青木幸七さん、山古志支所地域振興課から熊田係長が参加しました。

児童からは、義援金や支援金の内容とその使い道についてや、地震のときの村の様子、仮設住宅での暮らしの苦労や楽しいことはどんなことか、山古志に戻ったら1番にしたいことは何かなど、たくさんの質問がだされました。

最後に6年2組のみなさんで書いた寄書きが青木区長さんに贈呈され、区長さんもニコリでした。

ぜひこの学習会で学んだことを教訓として生かしてほしいですね。

